

こうほう



Kouhou
Sarabetsu

らべつ

2011

5

No. 584

ぐんぐんと
力強く空高く

特集 統一地方選挙結果

東日本大震災 村の取り組み

3月11日(金)午後2時46分、三陸沖を震源とした地震が発生し、津波により東北太平洋側を中心に甚大な被害が発生しました。友好姉妹都市である宮城県東松島市でも多くの尊い命が犠牲となり、未だに多数の皆さんが不便な避難生活を余儀なくされています。

村は東松島市と協定している『姉妹都市災害時相互応援協定』に基づき、地震発生直後から災害応援本部を設置し、村民の皆さんから多くの支援や協力を頂きながら活動を行ってきました。これまでの取り組みについて報告します。

❖村が行ってきた 取り組み状況

3月11日	災害応援本部設置 第1回災害応援本部会議
12日	第2回災害応援本部会議
13日	
14日	第1回更別村東松島市支援会議
15日	第3回災害応援本部会議
16日	東松島市義援金受付開始
17日	
18日	東松島市へ救援物資運搬
19日	
20日	
21日	
22日	
23日	
24日	第4回災害応援本部会議
25日	第2回更別村東松島市支援会議
26日	
27日	
28日	村民から救援物資受け入れ
29日	
30日	東松島市へ救援物資運搬
31日	
4月1日	
2日	
3日	
4日	第5回災害応援本部会議
5日	
6日	
7日	
8日	
9日	
10日	
11日	第1班職員派遣
12日	
13日	
14日	第2班職員派遣
15日	
16日	
17日	
18日	第6回災害応援本部会議
19日	第3班職員派遣
20日	
21日	
22日	
23日	
24日	第4班職員派遣
25日	
26日	
27日	
28日	東松島市へ義援金送金
29日	第5班職員派遣 被災見舞い表敬訪問
30日	
5月1日	
2日	
3日	
4日	
5日	
6日	



村 職員の森稔宏教育委員会教育次長とドライバーの有限会社更別運輸社員菅原智弘さんが支援物資の水11t、電池1千900本、乳幼児用オムツや薬などの生活必需品を積載した大型トレーラーに乗り、物資を運搬しました。

支 援物資を村民から募ったところ、受付開始の9時から多くの皆さんが訪れ、トイレトーパー、紙おむつ、タオルや下着類などダンボール229箱分が集まりました。物資の受け入れには更別村赤十字奉仕団(村瀬順子委員長)が中心となり荷物の仕分けや梱包をして頂きました。



村 職員の佐藤英好農業委員会事務局長とドライバーの有限会社更別運輸社員本山則夫さんが村民の皆さんから預かった支援物資と村が購入したお菓子やカレー缶などダンボール箱598箱を積載した大型トレーラーに乗り、物資を運搬しました。

4 月11日から5月6日までの間、各班3名の5班体制で、およそ1カ月にわたり東松島市に村職員の人員派遣を行ないました。派遣された延べ15名の職員は、窓口受付業務やゴミの分別作業などを行っていました。



4 月28日に、皆さんからご協力いただいた東松島市義援金と村から拠出した義援金を東松島市へ送金。4月29日には岡出村長、木山幸則村議会議員、三ツ山忠友好姉妹都市交流推進委員長、太田智範どんぐり子ども交流委員長が東松島市を被災見舞いで表敬訪問しました。

◆東松島市義援金(募集受付分)	参考 日本赤十字社更別村分区分義援金 2,321,501円(4月25日現在)
16,511,933円	更別村共同募金委員会義援金 497,198円(4月25日現在)
◆東松島市義援金(村拠出分)	
5,000,000円	

- 今後の応援予定**
- ◆被災者の受入
 - ・公営住宅などの住宅を確保
 - ・仮設住宅の整備
 - ・受入者用生活用品の確保
 - ◆職員派遣 など
 - ◆救援物資の提供
 - 東松島市に対して、救援物資を提供

統一地方選挙結果

敬称略

更別村長選挙

候補者	党派等	得票
当 岡出 誠司	無所属・現	無投票

更別村議会議員選挙

候補者	党派等	得票
当 木山 幸則	無所属・現	無投票
当 木 修一	無所属・新	無投票
当 赤津寛一郎	無所属・現	無投票
当 松橋 昌和	無所属・現	無投票
当 橋 清美	無所属・現	無投票
当 本多 芳宏	無所属・現	無投票
当 堂場 聡志	無所属・現	無投票
当 久門 尚二	無所属・元	無投票

上から届け出順

北海道知事選挙

候補者	党派等	全道得票 (村内得票)
当 高橋はるみ	無所属・現	1,848,504 (1,497)
次 木村 俊昭	無所属・新	544,319 (397)
宮内 聡	無所属・新	176,544 (68)
鯉谷 忠	無所属・新	92,491 (36)

有権者数 村2,733人 / 道4,527,104人
 投票者数 村2,007人 / 道2,691,929人
 投票率 村73.44%(前回79.59%)
 道59.46%(前回64.13%)

北海道議会議員選挙 (十勝総合振興局所管区域)

候補者	党派等	得票
当 大谷 亨	自民党・現	無投票
当 池本 柳次	民主党・現	無投票
当 佐々木恵美子	無所属・現	無投票
当 喜多 龍一	自民党・現	無投票

上から届け出順

問い合わせ 更別村選挙管理委員会事務局
(役場総務課庶務担当)

☎52-2111

更別村長・更別村議会議員選挙

岡出村政

2期目に

北海道・更別村の明日を託す統一地方選挙がこのほど行われました。
 4月10日の北海道知事選挙投票日、役場庁舎と上更別消防会館に設置された投票所には、投票開始時間の午前7時とともに有権者の皆さんが次々と足を運び候補者の名前を書いた一票を投票。同日に社会福祉センターでは開票所が設けられ開票立会人が見つめる中、作業が迅速に行われました。
 道内全域での開票結果が発表され、北海道の舵取り役として4名の候補者の中から前知事の高橋はるみさんが当選しました。また、北海道議会議員選挙



高橋知事3期に

北海道知事・北海道議会議員選挙は、十勝総合振興局所管区域の立候補者が定数以内であるため投票を待たず無投票で4名の当選が決まりました。
 一方、更別村長選挙では、立候補者が岡出誠司さん1名であったため4月24日の投票日を待たずに無投票当選が決定。更別村議会議員選挙においても定数8名に対して8名の届出があったため、無投票当選が決定しました。

これからよろしくお願ひします

この春の異動で新たに村の学校に着任された
教職員の皆さんと役場に採用された職員を紹介します。

上更別小学校



教頭
能代 雅彦さん

函館市出身
前任校:土幌下居辺小学校
趣味:読書・スキーなど

若々しく話題豊富で優秀な職員、礼儀正しく元気いっぱいの子供たち、協力的な保護者の皆さんとともに頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。



養護教諭
小林 真理さん

滝川市出身
前任校:本別勇足小学校
趣味:DVD鑑賞

とても温かい雰囲気のある学校で働くことができうれしく思います。早く子供たちの名前を覚え、毎日楽しく過ごしていきたいと思ひます。



教諭
雲石 忠司さん

士幌町出身
特別支援学級担当
前任校:広尾中学校

趣味:野球・スポーツ観戦
温かい雰囲気のある村で勤務できることをうれしく感じています。子供たちの表情がさらに明るくなるように頑張ります。



事務職員
香田 浩一さん

幕別町出身
前任校:池田高島小学校
趣味:釣り・スポーツ観戦

自然豊かな更別村に来ることができて大変喜んでおります。早く子供たちの顔と名前を憶えて楽しい学校生活を過ごしたいと思ひます。



教頭
秦 公一さん

陸別町出身
前任校:上更別小学校
趣味:読書

今年度から更別小学校でお世話になります。村の教育にお役に立てよう、さらに顔晴していきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

更別小学校



教諭
井上 幾未さん

帯広市出身
特別支援学級担当
前任校:更別中央中学校

趣味:旅行・映画鑑賞
ご縁があって今年度から更小でお世話になります。たくさんの笑顔に出会えることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。



教諭
脇岡 禎行さん

帯広市出身
特別支援学級担当
前任校:新任

趣味:マラソン
更別村の子ども、保護者や地域の皆さんの真剣な姿に私も力をもらっています。今後ともよろしくお願ひします。

平成22年6月着任



教諭
栃久保了平さん

えりも町出身
専科(理科・音楽)
前任校:札幌北小学校

趣味:ギター
優しく温かい地域の皆さんがいる更別村。ここで教育に携わることができてうれしく思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

平成23年2月着任



校長
五嶋 張佳さん

帯広市出身
前任校:芽室上美生中学校
趣味:小説・コーヒー・豆焙煎

広々とした農地の続く更別の地へ11年ぶりに戻ってきました。「絆」を大切とした教育に全力で取り組みます。どうぞよろしくお願ひします。



教諭
銭谷 寿史さん

帯広市出身
3年生副担・数学
前任校:豊頃中学校

趣味:サイクリング
学校に慣れるのはもちろんですが、地域のこともっと知って、皆さんと楽しく過ごしていけたらいいと思ひます。

更別中央中学校

更別農業高等学校



教諭
松本 純典さん

滝川市出身
2年生副担・社会科
前任校:幕別内中学校
趣味:硬式テニス

初めての南部、更別村での勤務となります。雄大な大地のもとで更別の教育に早く馴染んで頑張っていきたいと思ひます。



教諭
山崎美和子さん

帯広市出身
特別支援学級担当
前任校:新得中学校
趣味:旅行

自然豊かで、明るく元気な生徒たちと充実した毎日を過ごしたいと思ひます。よろしくお願ひします。



校長
福本 直人さん

稚内市出身
前任校:名寄農業高等学校
趣味:詩吟
道北生活30年。十勝の黒い大地にこの地域の農業の底力を感じます。まずは歩き、学校経営に向き合い、楽しみたいと思ひます。



事務長
田島 敏明さん

旭川市出身
前任校:札幌南高等学校
趣味:ゴルフ
十勝での勤務は初めてです。更別の皆さんと早く馴染み、学校や地域のために尽くしたいと思ひます。よろしくお願ひします。



指導主幹
渡會 崇善さん

小樽市出身
教育委員会事務局勤務
趣味:読書・ドライブ
中札内村教育委員会との共同設置で、4月1日に着任しました。明るい未来の礎となる子どもたちのため誠心誠意勤めさせていただきます。

更別村役場



主任(看護師)
北嶋 由佳さん

滝川市出身
診療所勤務
趣味:旅行
4月から診療所で勤務することになりました。微力ながら精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。



准看護師
中嶋 亜矢さん

帯広市出身
診療所勤務
趣味:キャンプ・温泉旅行
温かい雰囲気のある村で勤務することができてうれしいです。更別村の皆さんのために一生懸命頑張りたいと思ひますので宜しくお願ひします。



主事
松嶋 生さん

帯広市出身
保健福祉課勤務
趣味:音楽
謙虚な気持ちで、村民の皆さんのお役に立てよう仕事に臨みます。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



主事
中川 昇伍さん

音更町出身
建設水道課勤務
趣味:スポーツ
まだまだ未熟者ですが、一つひとつ仕事をとおして成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



主事補
永田 蘭さん

帯広市出身
教育委員会事務局勤務
趣味:スポーツ
更別村の豊かな自然、心温かい地域の皆さんに囲まれて仕事ができることをとてもうれしく思ひます。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

行政区長会議を開催

4月14日に今年度第1回目の行政区長会議が役場で開催され、村の施策が説明されました。話し合われた議題のうち主な案件をご紹介します。

■保安林景観・環境整備事業

村では平成21年度から3カ年の計画で、防風保安林などの枝がはみ出して交通事故の危険性のある箇所や、枝が農作業の支障となる箇所の枝打ちなどをする景観・環境整備事業を実施しており、今年度はこの事業の最終年度となっています。



昨年の9月に今年度分の要望を取りまとめています。追加希望がある場合は役場産業課林務担当 ☎52・2115)にお問い合せください。

平成23年度実施計画箇所
更別区の一部、南更別区の一部、昭和区、更南区

■東日本大震災被災地心援

友好姉妹都市である宮城県東松島市に対して救援物資などを提供するための予算措置状況は、平成22年度予算が1千83万5千円に対して、執行額が840万8千円となりました。当初3月中に村職員の派遣を考えていましたが4月に延期になったため242万7千円の執行残額となっています。

平成23年度分では、救援物資提供や応援職員派遣経費に加え、義援金の拠出や避難者の受け入れによる準備経費として総額2千141万7千円の予算となっています。

■役場からの配布物

毎月10日、25日同日が役場閉庁日の場合は翌開庁日に発送します。発送日であっても配布物のない場

■主な行事予定

5月15日(日)	植樹祭
5月16日(月)	クリーン作戦
5月25日(水)	村営牧場入牧
5月22日(水)	消防団春季演習
6月22日(水)	高齢者運動会
7月10日(日)	国際トラクター
7月15日(金)	B A M B A 戦没者追悼式

基準内容	金額
均等割	192,000円
戸数割	
39戸まで	36,000円
40~59戸	48,000円
60~79戸	60,000円
80~99戸	72,000円
100戸以上	84,000円
戸数割	戸数×300円
地域コミュニティ活動費	60,000円

合があります。

■行政区運営助成金

行政区運営助成金を次の基準で6月末までに行政区指定口座へ振り込みます。

保健だより vol.2

テーマ
健康づくりとおやつ

暖かくなり農作業も始まりました。昔は農作業の間の八つ時(今の3時頃)に軽い食事としたことから、間食=「おやつ」となったと言われています。今は、おやつとしてお菓子を食べるが多くなりましたが、健康への影響にはどのようなことがあるのでしょうか？

手軽で美味しいお菓子やジュースなどは、エネルギーや糖質・脂質が多いため、摂りすぎると糖尿病などの生活習慣病にもつながります。また、疲れた時に甘いものが欲しくなりますが、消化にはビタミンB1、B2が使われます。摂りすぎるとビタミン不足から、疲れやすさ、皮膚の炎症(湿疹など)、イライラなど心身のバランスにも影響してきます。複雑な心身の働きを保つには、さまざまな栄養素が必要です。バランスの良い食事を摂るためにも、お菓子やジュースなどは、1日の摂取カロリーの1割程が目安です。(食事バランスガイドでは1日200キロカロリーまで)

おやつのポイント

飲み物は、水かお茶に

ジュースや缶コーヒーなど砂糖を含むものを飲む時は、甘いお菓子を控えることをおすすめします。

果物や乳製品を取り入れて

不足しやすいカルシウムやビタミンなどを補うことができます。1日の目安は果物でバナナ1本または、みかん2個程度、牛乳ではコップ1杯です。

おにぎりがおすすめ

おにぎりは、腹持ちが良くおすすめです。血糖値が高い方は、ごはん量に個人差があるので相談してください。

カロリー表示を意識して

最近ではカロリー表示がされている物が多いので、参考にしてみてください。ちなみに菓子パンはお菓子の仲間、摂り過ぎないように気をつけましょう。

十勝では美味しいお菓子が多く、食べる機会も多くなりがちです。本来おやつは『間の食事』、甘いものを摂り過ぎないように気をつけることが大切です。

問い合わせ 役場保健福祉課(福祉の里総合センター内)保健担当 ☎53-3000

6月1日 社会福祉センター 特設相談所を開設

人権擁護委員による「特設人権相談所」を開設します。家庭内の問題などを村在住の委員がお受けします。

特設人権相談所

人権擁護委員

日時
6月1日(水)
午後1時30分~午後4時
場所
村社会福祉センター
小会議室



安江 勝明さん
(☎52-2619)



本多 俊江さん
(☎53-3525)

委員の業務

人権擁護委員

家庭内や借地借家の問題、隣近所のもめごとなど、住民の皆さんからの相談にいつでも応じています。

法務局帯広支局でも気軽に相談できる「常設人権相談所」が開設されています。

▽釧路地方法務局帯広支局
常設人権相談所 ☎24-5823

問い合わせ 役場住民生活課住民生活担当 ☎52-2112

通常料金・協定料金比較表

従来協定	区分	通常料金		協定料金	
		夏	冬	夏	冬
従来協定	葬儀業務	400,000円		252,000円	
	霊柩車運行業務				
新規追加分	バン型車(斎場 火葬場)	48,114円	57,733円	26,500円	31,800円
	バン型車(自宅 斎場)	16,162円	19,400円	10,000円	10,000円
	洋型車、宮型	69,276円	83,133円	52,514円	63,019円
	宮型	53,629円	64,352円	36,876円	44,248円
	バス39人乗り(バス単独料金)	72,610円	87,133円	48,752円	58,505円
	バス39人乗り(宮型とセットの場合)	58,086円	69,705円	39,000円	46,800円
	バス41人乗り(バス単独料金)	74,095円	88,914円	50,238円	60,286円
バス41人乗り(宮型とセットの場合)	59,276円	71,133円	40,190円	48,229円	

更別村地域安全・コミュニティ村民会議と株式会社帯広公益社が締結していた、葬儀に関する業務協定について見直しを行い、新たに協定を結びました。これまで葬儀の際に使用していた車両7台が協定書に記載されておらず通常料金で支払っていましたが、新たに協定書の中に追加することで、次の表のとおり以前より料金の設定額が下がりました。新たな協定後の料金は4月18日から適用されています。

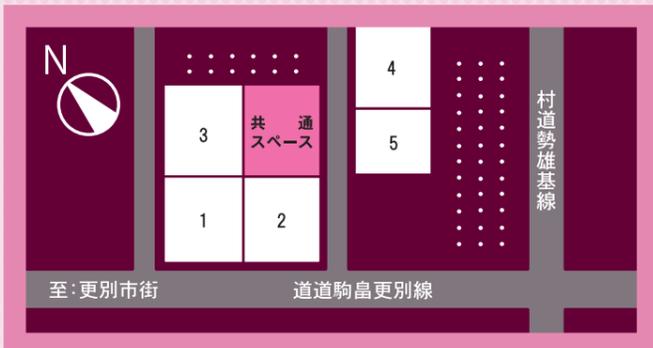
問い合わせ 更別村地域安全・コミュニティ村民会議事務局
(役場住民生活課住民生活担当) ☎52-2112

セオイの里(勢雄区)は道道駒島更別線と村道勢雄基線に隣接し、更別市街地から車で15分程度、とかち帯広空港より車で10分程度に位置し、周辺は農村特有の田園風景が広がっており自然に大変恵まれています。

平成23年4月から区画番号1番と3番、4番と5番の区画についてそれぞれ1申込者2区画分の購入が可能になりました。



	面積	価格
1	924.00m ²	1,108,000円
2	924.00m ²	1,108,000円
3	870.00m ²	1,044,000円
4	870.00m ²	1,044,000円
5	666.00m ²	799,000円



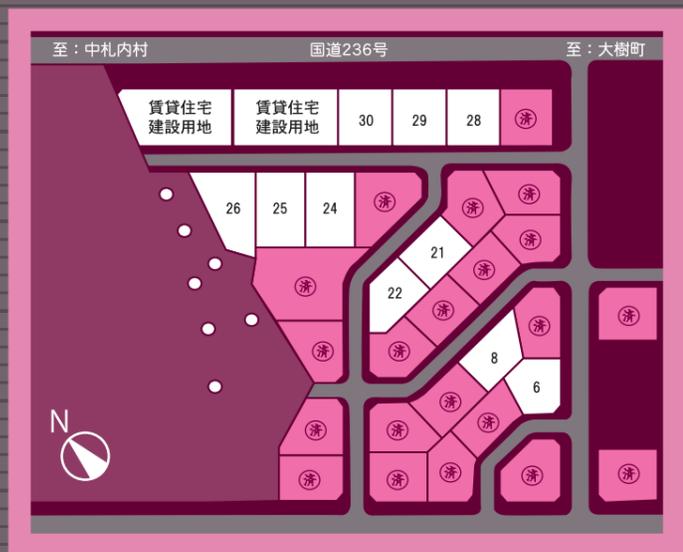
好評分譲受付中 セオイの里

上更別市街では民間の宅地分譲地『上更別オークヴィレッジ』の販売も行っています。詳細については村ホームページをご覧ください。ほか、役場企画政策課へお問い合わせください。

コム二団地

コム二団地(若葉町)は国道236号線と村道東3条線に隣接し、中心市街地から徒歩5分程度に位置し、近隣には診療所、福祉施設、福祉の里温泉、コミュニティプール、トレーニングセンターなどの公共施設、バス停留所があります。

20区画を販売し残り10区画となりました。住宅の建設も進み、徐々に団地としての居住空間が形成されてきています。



	面積	価格
6	465.23m ²	2,637,000円
8	485.57m ²	2,622,000円
21	465.85m ²	2,515,000円
22	471.70m ²	2,674,000円
24	645.16m ²	3,483,000円
25	645.16m ²	3,483,000円
26	681.35m ²	3,679,000円
28	538.94m ²	2,910,000円
29	538.94m ²	2,910,000円
30	538.94m ²	2,910,000円

問い合わせ 役場企画政策課地域開発担当 ☎52-2114

希望者を募集しています

地域や商店街の活力・魅力・潤いあるまちづくりに

費用を助成します

商店街活性化事業

商工業者の事業活動に対して支援することで、活力と魅力あるまちづくりを推進し、経済の発展と住民の福祉向上を役立てることを目的に助成します。

事業名	対象地域	助成対象基準	助成額
新規事業者支援事業	市街地区(商店街)	店舗新築、居抜き取得、借家取得(中古物件取得)	事業費の30%以内 助成限度額300万円
		店舗併用住宅については住宅部分を除く	土地取得費を含む 賃貸の場合のみ
空き店舗・空き家活用事業	市街地区(商店街)	村内の空き店舗、空き家を増改築取得、賃借による新規開店	店舗改修費の30%以内 補助限度額100万円 月額家賃の70%以内 補助限度額月5万円 (2年間限度)
		既存店舗改修等事業	賃貸から取得の場合 本支援事業の「賃貸」の補助対象者に該当してから5年以内に取得した場合、本支援事業助成額の総額を300万円とする

ふるさとづくり事業

個性的な、ふるさとづくり活動に対して支援することで、活力と潤いのあるまちづくりの推進に役立てることを目的に助成します。

事業名	対象地域	助成対象基準	助成額
ふるさとづくり事業	村内全域	地場産品を活用した加工品の製造・販売を行う施設のほか、飲食業やサービス業を行う施設の整備などの有形事業 村内に存在しない新たな形態の事業に取り組むもの 村民に成果の還元が期待されるもの 当該年度に助成金の交付が必要と認められ継続的な助成金の交付を必要としないもの ほかの補助・助成制度を活用できないもの	事業費の50%以内 助成限度額1事業200万円 (下限額50万円)

地域づくり対策事業

地域特性を活かし、活力ある地域づくりを行うための事業に対して支援することで、地域の活性化と振興を図ることを目的に助成します。

事業名	対象地域	助成対象基準	助成額
地域振興調査研究事業	村内全域	生活基盤、その他の生活安全に関わるものの調査、研究	事業費の50%以内 助成限度額1事業50万円
コミュニティ振興事業	村内全域	住民のふれあい、繋がりに関わる交流、催事	事業費の50%以内 助成限度額1事業50万円
街なか生き生き活性化事業	市街地区(商店街)	商店街のにぎわい、交流、笑顔の創出に関わる環境向上対策、催事	事業費の50%以内 助成限度額1事業50万円

問い合わせ 役場企画政策課地域開発担当 ☎52-2114



児童らが春休みを終え新学期を迎えた4月、国道236号線沿いの交差点で、更別市街が4月8日から15日まで、上更別市街は4月11日・12日と5月2日・6日に、地域安全コミュニティ村民会議委員、地域安全推進委員、交通安全指導員、ライオンズクラブ、先生方やPTA、帯広警察署更別駐在所長らが児童の交通安全街頭指導を行いました。

4月9日、上更別小学校前の横断歩道では、交通安全の小旗を手にした皆さんの前を自転車で乗った児童が元気に登校。自転車を降り、おはようございます！と大きな声で挨拶すると、信号機や周りを確認して横断歩道を渡っていきました。

4/8
~
5/6

交通安全に
気をつけて

3/30

口蹄疫と防疫
対応について



昨年、宮崎県で牛や豚などに猛威を振るった口蹄疫とその防疫対応について知ってもらおうと更別村家畜自衛防疫組合主催の家畜衛生推進セミナーを開催し、会場のJAさらべつには酪農や畜産を営む方を中心に多くの皆さんが集まりました。

講演では十勝家畜保健衛生所病性鑑定課の小岸憲正主査を講師に招き、口蹄疫に感染した牛の症状やウイルスの生存期間、感染源などについて詳しく説明していました。小岸さんは昨年の6月15日から実際に宮崎県へ獣医師として派遣され、臨床検査や牛の殺処分などの防疫作業に従事。当時は振り返り、作業中は声かけが大切。生産者や関係機関などが協力し、侵入防止対策と発生に備えた体制整備、異常畜の早期発見と隔離、迅速な通報が重要ですよと話していました。



毎年世界中で数万人の死者を出している狂犬病。人間が感染し発病した場合、治療法がなくほぼ100%の確率で死亡する怖い病気です。この病気を防ぐために狂犬病予防注射が村内の各行政区会館などで行われ、2日間で225頭が注射を受けました。

平和区会館では飼い主に連れられてこられた7頭の犬たちは、普段と違う様子に不安げな表情をしていましたが、獣医師の手早い動作で注射が痛くないと分かると2頭でいたワンちゃん、ボクも手伝うワンッ！と言わんばかりに一緒に頑張って一頭の犬を押さえるしぐさをみせていました。

4/14
・
4/15

ボクも手伝うワンッ！



人間と犬が暮らしていくための社会のルール。犬の予防注射をお忘れなく。

4/24 パークゴルフ場オープン

どんぐり公園パークゴルフ場が今年度の営業を開始し、待ちに待った季節到来に愛好家の皆さんは笑顔でコースを回っています。

23日のオープン日は、あいにくの天候でプレイを楽しむことはできませんでしたが、翌日には大勢の皆さんが訪れ久しぶりのコースの感触を確かめながら勢いよく打ち出されたボールの行方を見つめます。

訪れた方は、毎年楽しみにして来ています。今年は腕を磨いて大会に出たいですよと話していました。

10月31日までの営業期間中、何回でも利用できるシーズン券も発売しています。今年もたくさんのご来場をお待ちしています。



この春に入園・入学する子どもたちの交通安全を願い、末広学級生の皆さんがキーホルダーの記念品を手

4/4 末広学級からの贈り物

作りし、道見秀雄学級長が幼稚園や小学校を訪れ園長や校長へ手渡ししました。

キーホルダーは学級生の皆さんが3月9日の学習活動で制作したもので、「交通安全」の文字と子どもたち一人ひとりの名前が書かれ、イルカの形をした反射板がセットになったものでカバンやランドセルに付けることができます。

上更別小学校を訪れた道見学級長は、交通安全を願い、心を込めてつくりました」と贈呈し、受け取った横山徹校長は、心のこもった贈り物がありがとございます。交通安全に心がけ、事故防止に努めていきます」とお礼を述べていました。

4/6
・
4/7

幼稚園で入園式



4月6日の上更別幼稚園入園式では3名が、4月7日の更別幼稚園入園式では12名の園児が新たなお友達となりました。

更別幼稚園では、来賓の皆さんや幼稚園のお兄さん、お姉さんが見守る中、不安そうに保護者の方に手を引かれ新入園児たちが入場。菅忠良園長が、入園おめでとうございます。ニコニコと元気に遊び、ハキハキとくすぐずしないで仲良く遊び、ドンドンと自分たちで進んで遊んでください。日本一楽しい幼稚園にしよう」とお祝いの言葉を贈り、お兄さん、お姉さんからは新入園児に向けて歌のプレゼントがあり、元気な歌声が園内に響いていました。

4/8

入学祝金を
贈呈



村の未来を担う子どもたちの成長を支援し、保護者の経済的負担を軽減させるため昨年と同様、小・中学校へ入学する村内に住所がある児童・生徒の保護者に、入学祝金として5万円分のどんぐり商品券が贈呈されました。

更別小学校の入学式の日には、梶浦加代子教育委員が新入生徒30名の保護者1人ひとりに祝金を手渡し、保護者の方は、経済的に負担が減って助かります。子どもにお金がかかる時期なのでありがたいですよと話していました。

入学祝金は今年度、村で入学する生徒、更別小学校30名、上更別小学校9名、更別中央中学校43名、計82名の保護者に対して贈呈されました。

4/27

村農業の
役割を
目指して



農業後継者を目指す村の若者たちをサポートするため、行政機関や関係団体でつくる村農業担い手育成センター（理事長岡出村長）が、今年度から新たに農業に就く6名の皆さんを励まそうと、新規就農者激励会をふるさと館で開催しました。

岡出理事長は、「先輩方の技術を学び、村の発展のために頑張ってください」と挨拶を述べ、副理事長の村農業協同組合細矢芳己組合長が新規就農者一人ひとりに激励状と記念品を手渡し、経営者として、しっかりとした目標を持ち頑張ってください」とエールを送りました。

新規就農者の皆さんは、「つながりを大切に、立派な経営者として頑張ります」と話していました。

お知らせ

農村地区の合併処理浄化槽を村が設置します

村では農村地区を主な事業地域として、快適な生活環境づくりをめざし、住宅の浄化槽の設置と管理を村が行う合併処理浄化槽設置事業を推進しています。

公共水域の水質汚濁を防ぎ安心・安全な生活環境を維持するためにも合併処理浄化槽の設置をご検討ください。

対象地域
更別・上更別市街を除く地域
申し込み方法
「個別排水処理施設設置申請書」を役場に提出してください。

申請書は建設水道課窓口に備え付けてあります。
住宅新築を伴う場合
工事のスケジュール調整が必要になるとおられますので早めの申し込みをしてください。

規模別料金表

人槽	使用料 (月額)	受益者分担金 (5年払)	
		1期当り (年4回)	総額
5人槽	4,000円	5,500円	110,000円
7人槽	4,500円	7,000円	140,000円
10人槽	5,100円	9,000円	180,000円

使用料は、使用を開始した翌月から表の金額を定額で納付することになります。

受益者分担金は、合併処理浄化槽を設置した翌年度から納付が始まり、一括払いも可能です。

10人槽を超える合併処理浄化槽設置を予定される方は、お問い合わせください。

問い合わせ
役場建設水道課上下水道担当
☎52 - 5200

下水道区域内でディスポーザーが使用できます

村では、生ごみを粉碎処理し流し台からの排水を利用して処理する設備「ディスポーザー」が使用することができます。

対象地域
下水道処理区域内(更別市街)
申し込み方法
役場に設置申請書を提出し、村の排水設備工事指定店で設置してください。
設置費用
自己負担(約10万円程度)
使用料
月額200円
問い合わせ
役場建設水道課上下水道担当
☎52 - 5200



道路橋梁長寿命化計画の策定に向けた点検結果を公表します

平成19年度に国土交通省が創設した橋梁の長寿命化修繕計画策定事業に基づき、村では道路橋の長寿命化によるコスト削減を図るため平成22年度からの3カ年度で点検を行い平成25年度に計画を策定します。

平成22年度に行った橋梁点検の結果について村ホームページで公表しているほか、5月31日まで役場建設水道課でも閲覧することができます。

問い合わせ
役場建設水道課道路整備担当
☎52 - 5200

5月は消費者月間です

～地域で広げよう消費者の安全・安心～
国では、昭和63年から毎年5月を『消費者月間』とし、消費者・事業者・行政が一体となって消費者問題に関する啓発や教育などの事業を集中的に行っています。しかしながら、消費生活の基本となる食に対する信頼を裏切る事件や高齢者の資産を狙った悪質な商法など、暮らしの土台そのものを揺るがす問題は後を絶ちません。

行政のみならず、事業所や地域による積極的な情報発信や消費者の自立支援に取り組み、安全・安心で消費者が主役となる社会をつくっていきましょう。

消費者庁HP
<http://www.caa.go.jp/region/2010gekkann/index.html>
問い合わせ
役場産業課商工担当(ふるさと館内)
☎52 - 2211

訪問販売などでお悩みのときは...
消費生活相談室をご利用ください
相談日
毎月第1・3木曜日
時間
午前10:45～午後4時30分
場所
村社会福祉センター内
問い合わせ
消費生活相談室
☎52 - 3900

山菜採りにおける事故と熊の出没に注意を!

～帯広警察署から～
例年、山菜の愛好家が行者ニンニクやウド採りで入山し、道に迷ったり、熊に襲われるなどの事故が発生しています。

冬眠から覚めた熊が餌を探して人里近くまで降りてくることもありますので、熊よけ対策をしっかりと行ってください。慣れた山でも油断すると『危険な落とし穴』があることを忘れないで、山菜採りを楽しみましょう。

事故を防ぐためのポイント
1人では山菜採りにいかない。
家族などに必ず行き先と帰る時間を知らせる。
一緒に入った仲間と声を掛け合ったり、ラジオを鳴らすなどして絶えずお互いの位置を知らせ合う。
自分がどこにいるかを常に確認する。
熊よけの鈴やラジオを必ず携帯する。
問い合わせ
釧路方面帯広警察署
☎25 - 0110

道の交通事故相談所をご利用ください

「交通事故にあったが、どうしたらよいか分からない」、「損害賠償の額は適正かどうか知りたい」、「示談の仕方はどのようなものか」など、北海道では交通事故相談所を設置し、専門の相談員や弁護士が無料で相談に応じています。

北海道交通事故相談所
場所
札幌市中央区北3条西6丁目道庁1階
相談日時
・月～金曜日
・午前9時～午後5時
問い合わせ
☎011 - 232 - 7452
☎011 - 204 - 5220
面接(予約制)、電話、文書などで相談を受付しています。

弁護士巡回相談所
場所
帯広市東3条南3丁目十勝総合振興局保健環境部環境生活課
巡回日時
・6月8日、7月13日、8月10日、9月7日、10月12日、11月9日、12月7日、1月11日、2月8日、3月7日
・午前11時～午後3時
問い合わせ
☎26 - 9249
弁護士巡回相談を希望される方は必ず事前に予約をお願いします

ご利用ください 『村づくり出前宅配便』

村では、行政全般で皆さんが聞きたいことを職員が説明に伺う「村づくり出前宅配便」を実施しています。

利用できる方
村内に在住、在勤、在学中の5人以上のグループ
時間
午前9時から午後9時(2時間以内)
場所
村内に限ります。会場の手配、参加者の周知は主催される側でお願いします。

申し込み方法
団体・グループの代表の方が直接役場に来られるか、電話でお申し込みください。
申し込み・問い合わせ
役場住民生活課住民生活担当
☎52 - 2112

国民年金

国民年金は誰もが加入する制度です

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入することになります。

加入者は、職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。

第1号被保険者
自営業者、学生、フリーター、無職の方などで、加入手続きは自分で役場住民生活課で行います。
第2号被保険者
会社員や公務員など、厚生年金保険や共済組合に加入されている方で、加入手続きは勤務先が行います。
第3号被保険者
第2号被保険者に扶養されている配偶者の方で加入手続きは第2号被保険者の勤務先を経由して行います。
問い合わせ
帯広年金事務所
☎25 - 8113

20歳になられた学生の方へ

学生であっても20歳以上であれば国民年金に加入して保険料を納めることになります。

しかし、学生の方は、所得が少ないなどの理由で国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合が多いため、在学期間中の保険料の納付を猶予する「学生納付特例制度」があります。詳しくは年金事務所にお問い合わせください。

問い合わせ
帯広年金事務所
☎25 - 8113

税

自動車税・軽自動車税の納期限は5月31日(火)

自動車税(道税)、軽自動車税(村税)の納期限は、5月31日(火)です。

車検には納税証明書が必要ですので納税後は通知書に添付の納税証明書を車検証と一緒に保管してください。

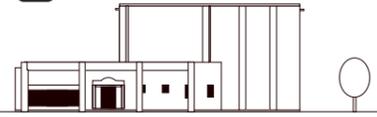
納税通知書の送付
自動車税の納税通知書は5月6日頃に、軽自動車税は5月10日頃に発送します。お手元に届かない場合は十勝総合振興局または役場住民生活課へお問い合わせください。

身心に障がいをお持ちの方のため使用する自動車には税の減免
身心に障がいをお持ちの方のため使用する自動車で、一定の要件に当てはまるものは申請することで自動車税の課税免除を受けることができます。申請のほか詳しい内容は十勝総合振興局または役場住民生活課へお問い合わせください。

問い合わせ
自動車税
十勝総合振興局地域政策部納税課
☎27 - 8533
軽自動車税
役場住民生活課固定資産税担当
☎52 - 2112

コミュニティプール利用開始

5月1日(日)にオープンしました。利用内容は次のとおりです。



皆様のご利用おまちしています。

利用日

開館時期	開館時間	休館日
5～9月	午前10時～午後8時	火曜日

- ▶ 団体(10名以上)の使用は事前に申請書の提出をお願いします。
- ▶ 昼時間(正午～午後1時)も開館しています。
- ▶ 中学生以下の個人使用は午後6時までです。それ以降は保護者の付き添いが必要です。

使用料

1.個人使用			
区分	使用料		
	1日	シーズン券	1コース専有
小中学生	100円	2,000円	1時間につき 250円
高校生	200円	4,000円	
大人	300円	6,000円	
2.専有使用			
区分	使用料		
25mプール	1時間につき 1,750円		

- ▶ 村内に居住する高校生以下の方、更別農業高校生が使用する場合は使用料が免除されます。小中学生、高校生の使用料は、村外使用者がプールを使う場合に必要となります。
- ▶ 1コース専有の使用料は、1日またはシーズン券と別にかかります。

注意事項

- 事故防止のため、「遊泳50分」「休憩10分」を守ってください。
- 衛生上の理由から、プールに入るときには水着に着替え、シャワーを浴びてください。水着以外の衣服で入る必要があるときは、管理人へ申し出てください。
- 浮き輪やおもちゃなどは持ち込み禁止です。浮き輪などはプール備え付けのものを利用してください。



初心者の方に村職員が村民プールで水泳の基礎をやさしく楽しく教えます。皆さんお気軽にご参加ください。

詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ...教育委員会事務局生涯学習担当 ☎52-3171

農村環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

英語好きっ子を育てる70のアドバイス
菅 正隆 / 著

平成23年度4月、いよいよ小学校高学年で外国語活動スタート!小学校英語導入の立役者がアドバイスします。

こども文様ずがん
下中菜穂 / 著

カワイイ タノシイ オモシロイ!日本のお宝デザインがどっさり掲載され、大人でも楽しめる一冊です。



仕事がない!
増田明利 / 著

明日はわが身か?20代から50代まで36人の仕事欲しい、「仕事がしたい」といった生の声が掲載されています。



ふるさと館

月

曜

も

開

館

し

ま

す

4月から、ふるさと館は月曜日も開館しています。皆様のご利用をお待ちしています。

なお、食品加工研修室は、施設清掃などの都合により月曜日は利用できませんのでご了承願います。

ふるさと館ではゴーダチーズ作り定期講座を4月から10月は第2日曜日、11月から3月は第2・第4日曜日に開いています。申し込みを希望される方はふるさと館までお問い合わせください。



問い合わせ
役場産業課ふるさと館担当 ☎52-2211

火入れには許可が必要です!

森林や、その周辺の火入れには許可が必要です。火入れをする7日前までに、申請書を役場産業課へ提出してください。許可を受けて火入れを実施するときには更別消防署へ連絡をしてから行うことになっています。

火入れの許可対象

- ・造林のための地ごしらえ
- ・開墾準備
- ・害虫駆除
- ・焼畑
- ・採草地の改良

問い合わせ 役場産業課林務担当 ☎52-2115

柏町
齋藤 咲彩さん



アトリエ



『更別農業高校に入学して』
更別農業高校1年B組 細矢 恭平

僕が更別農業高校に入学して約1週間程がたち、少しずつではありますが慣れてきました。クラスの方でもしつかりと友達ができきました。

しかしまだ、自分が高校生になったという実感がわきません。少しは慣れたといってもただかだか一週間しかたっていないので、まだ中学生気分が抜けきっていないのかもしれない。

これから、本格的に授業が始まってくるので、早く気持ちを切り替えて、高校生らしくなれるよう努力していきます。

僕がこの学校でいたいことは、農業の勉強、特に言うところ農業実習です。三年間を通して、色々な農業に関する知識や技術を肌で感じて、自分の将来のために、それらを覚えていきたいと思っています。

ちなみに言うと、一年生では、農業科では大豆、生活科学科では力ボチャを栽培するそうです(僕は農業科です)。どんなふうにするかはまだ想像がつかませんが、今から楽しみです。

僕はこの学校で、次代の農業後継者となるための力を身につけていきたいと思っています。力を身につけるための時間は、多い方がいいと自分で勝手に思っているのですが、早いのもいいかもしれません、今から地道に努力していこうと思っています。つまづきながらも、大変なことがあっても、めげずに頑張りたいです。

といったも、まだ進路までは明確に決められていません。とにかく、その進みたい道を決めるためにも、高校生活を悔いの残らないように頑張っていこうと思います。

更別農業高校



戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

なかのゆいか 野結佳ちゃん
 聖・麻子(若葉町)

みうらちか 浦慈佳ちゃん
 隆・真(本町)

むらかみりあん 村上璃安ちゃん
 義雄・志(織曙町)

ますだこう 益田琥宇ちゃん
 圭太・沙(緒里曙町)

よしだれんすけ 吉田蓮佑ちゃん
 耕治・沙(織花園町)

たかはしこ 高橋ゆり子ちゃん
 祐太・好(美東栄区)
 保護者敬称略

お悔やみ申し上げます

大石 富恵さん 100歳
 (上更別南区)

人のうごき

人口

3,448人(-21人)【内外国人30人】
 男1,707人(-10人)

【内外国人16人】

女1,741人(-11人)

【内外国人14人】

世帯数

1,282世帯(+3)

【内外国人13世帯】

4月1日現在。()内は前月末比。

地域安全ニュース

更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

635日(4月30日現在)

4月の村内交通事故件数

7件(人身0件 物損7件)

【今年1月からの計31件】

4月の村内犯罪発生件数

2件

【今年1月からの計4件】

こうほう



5

平成23年5月10日発行(No.584)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595 北海道河西郡更別村

字更別南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) ☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) village-office@sarabetsu.jp

(村長) seiji-okada@sarabetsu.jp



やすむらひな 安村妃菜多ちゃん
 平成22年5月18日生
 南更別区

はじめまして！妃菜多です。甘えん坊でイタズラが好きだけど、一番大好きなのはお兄ちゃん！！これからも、お兄ちゃんと仲良くね♡

眞太郎・由佳



はやさかちゆき 早坂知優希ちゃん
 平成22年5月10日生
 更別区

ザ 活発！！な我が家の4番目『知優希』は、家の中でも保育園でも動き回りジツとはしていません。兄妹仲良く大家族でワイワイやっています

正直・靖代



はたやま はるな 畠山 暖菜ちゃん
 平成22年5月2日生
 若葉町

イチゴが大好きな『はるな』です！！周りの人を思いやる心を大切に、『あたたかい』気持ちにさせる優しい子に育ててください。

大範・麻里

友好姉妹都市交流推進委員会と、どんぐり子ども交流委員会が行ってきた東松島市義援金の受付は4月15日に終わり、多くの皆さんからご協力頂きました。東松島市が行っている義援金と寄付金の募集受付は次のとおりとなっていますので引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

東松島市東日本大震災義援金

市内の被災者に生活再建のための義援金を贈られることを希望される場合は、下記の口座への振込みをお願いします。

振込先口座 ゆうちょう銀行 口座番号 00110-1-650
 名 義 東松島市災害対策本部

東松島市東日本大震災寄付金

市が行う災害復旧等対策(被災地の港湾・道路修復など)の財源として、市に寄付を希望される場合は、下記の口座への振込みをお願いします。

振込先口座 七十七銀行矢本支店 口座番号 普通9180133
 名 義 東松島市災害対策本部東松島市長阿部秀保

銀行などから振り込む場合、原則、振込手数料がかかりますので、その際は利用者負担にてお願いします。



雪解けの匂いを運ぶ風に吹かれ、悠々と青空を泳いでいる鯉のぼりの姿は、村内で春を知らせるこの時期の風物詩となっています。

鯉のぼりを掲げる習慣は、日本独自の文化で、江戸時代に男児の出世を願って紙や布などに鯉を描き、風をなびかせる吹流しを鯉の形で作ったことから始まったと言われています。

表紙の風景

5月5日、端午の節句が近づき村内のいたる所で、大きな鯉のぼりを目にするようになりました。